

A・3 交通外傷の事例 歩行者事故の特徴

～交通事故入院患者からその特徴の有無を検討～

岡崎市民病院 整形外科 副院長

杉浦 昌

整形外科は骨、関節など運動器の疾患、外傷を取り扱う科であり、たくさんの交通事故被害者の治療にあたっている。自動車メーカー、タイヤメーカー、警察をはじめとして車にかかわるあらゆる分野の方々の努力により、交通事故は着実に減少してきているといわれている。また我々治療を担当する立場から見ると、交通事故による患者数の減少、とりわけ重症な外傷の減少を実感している。

とは言え、当科においても毎年 150 人近くの方が交通事故による外傷で入院している。交通外傷で受診する方が年間 1000 名程なので、およそ 1 割が入院治療となっている事になる。

今回平成 13 年および平成 14 年に当院整形外科に交通外傷で入院された患者 298 人について、年齢、性差、交通事故誘因、入院期間、外傷の程度、治療法などを retrospective に検討した。その中で、歩行者事故の特徴を明らかにしたい。